

2026年5月 治安情勢

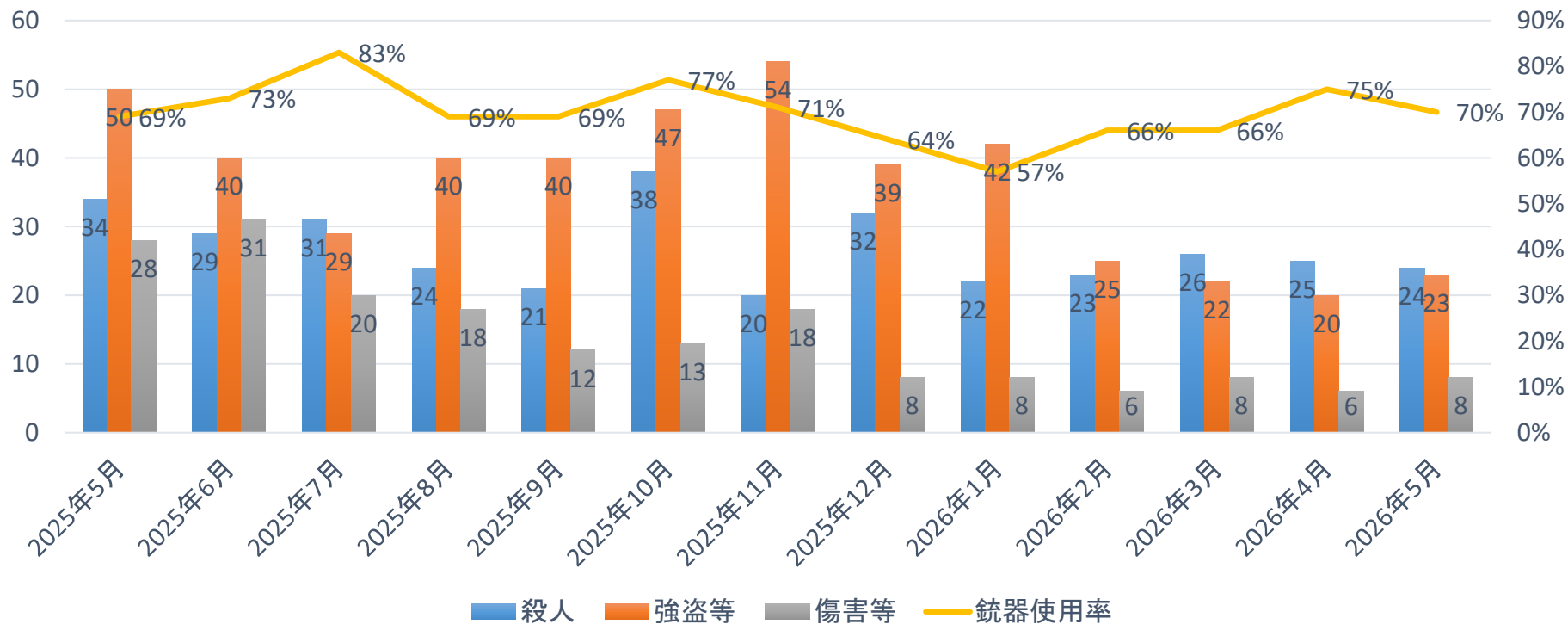
トリニダード・トバゴ及び当館管轄国

在トリニダード・トバゴ日本国大使館

管轄国別 犯罪発生件数（2026年5月）

	国名	殺人	強盗等	傷害等	誘拐	性犯罪	銃器 使用率
1	トリニダード・トバゴ	24	23	8	1	1	70%
2	ガイアナ	7	5	5	6	0	57%
3	グレナダ	0	0	0	0	0	0%
4	スリナム	1	3	2	0	0	50%
5	セントビンセント	2	0	2	0	0	50%
6	セントルシア	7	0	0	0	0	86%

犯罪発生推移（トリニダード・トバゴ）

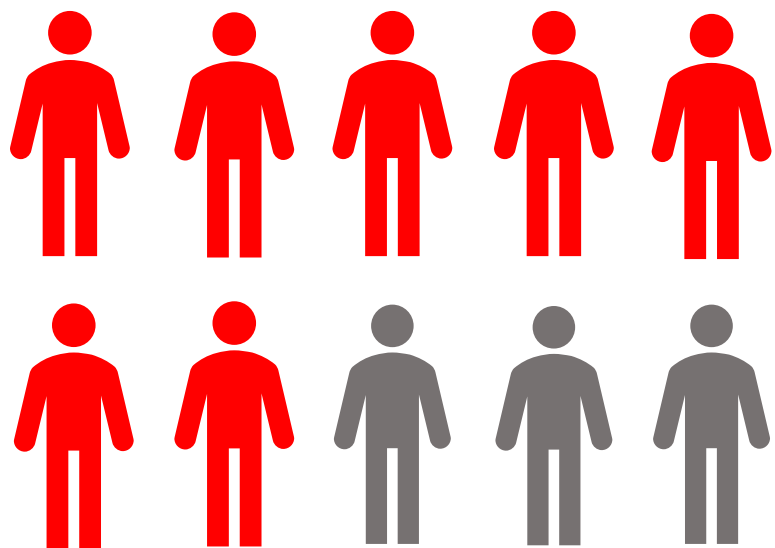


○殺人、強盗の70%において銃器が使用されています。**前月（75%）からはわずかに減少したものの、依然として約7割という極めて高い水準を維持しており、些細なトラブルが即座に致命的な事案へ発展する危険性に変化はありません。周囲の状況に対する最大限の警戒が必要です。**

○夜間のみならず、公共の場での発砲事案も報告されており、周囲の状況に対する最大限の警戒が必要です。

些細なトラブルが致命傷へ

極めて高い銃器使用率

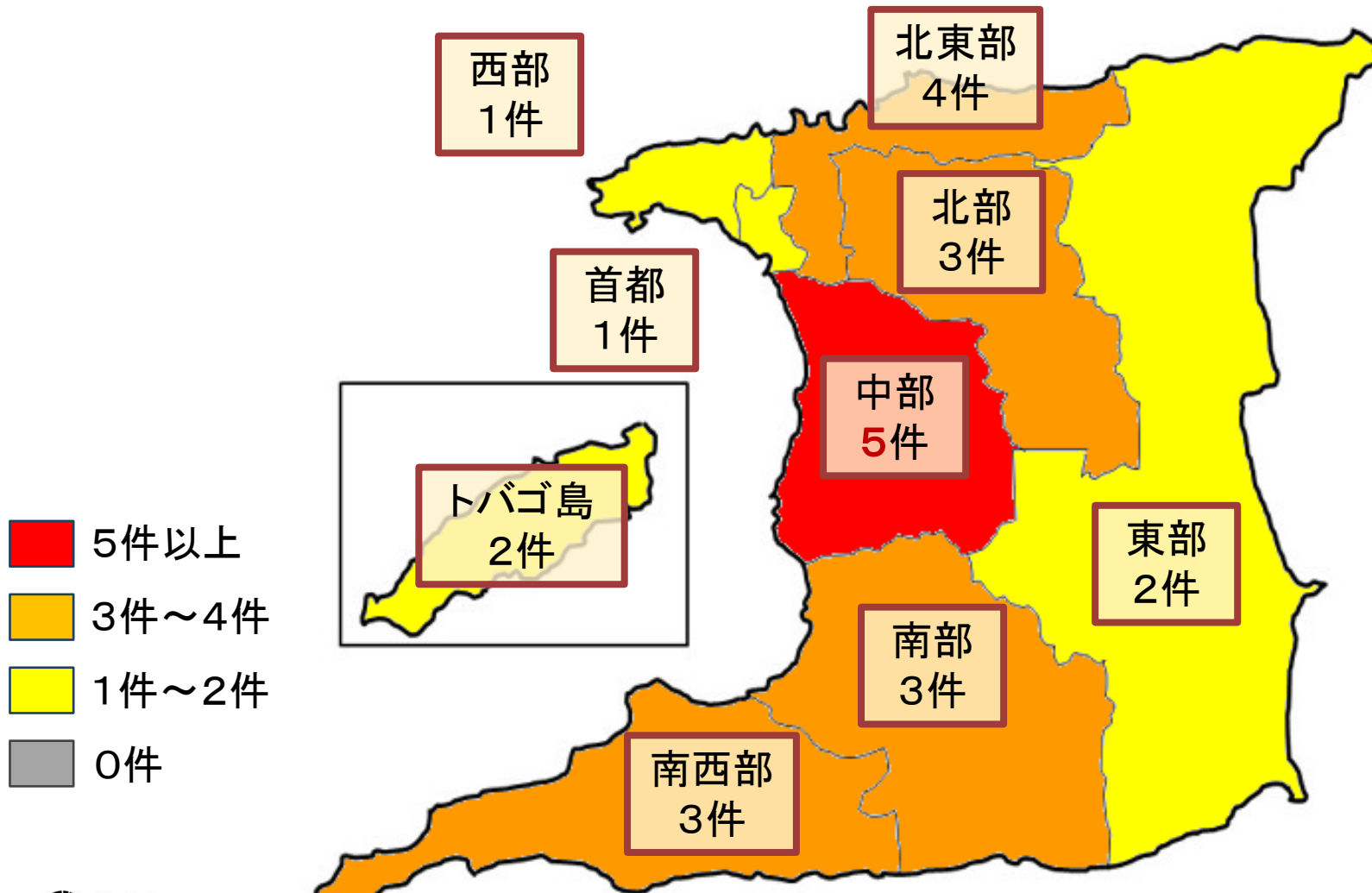


70%

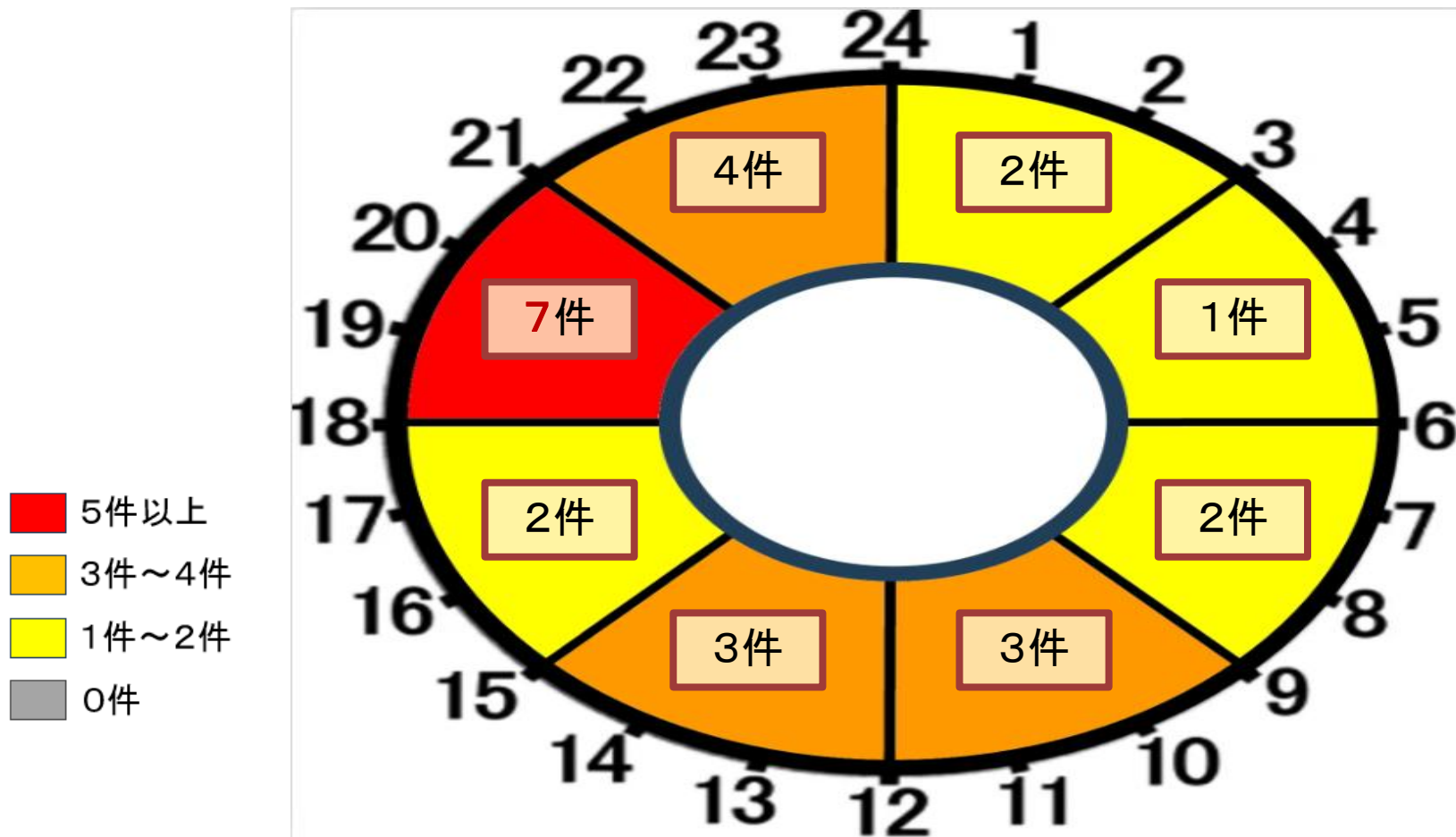
殺人・強盗事案の70%
で銃器が使用されている

公共の場での発砲事案も発生。周囲の状況に対する最大限の警戒が必須。

トリニダード・トバゴ警察方面別 殺人事件発生件数状況（2026年5月）

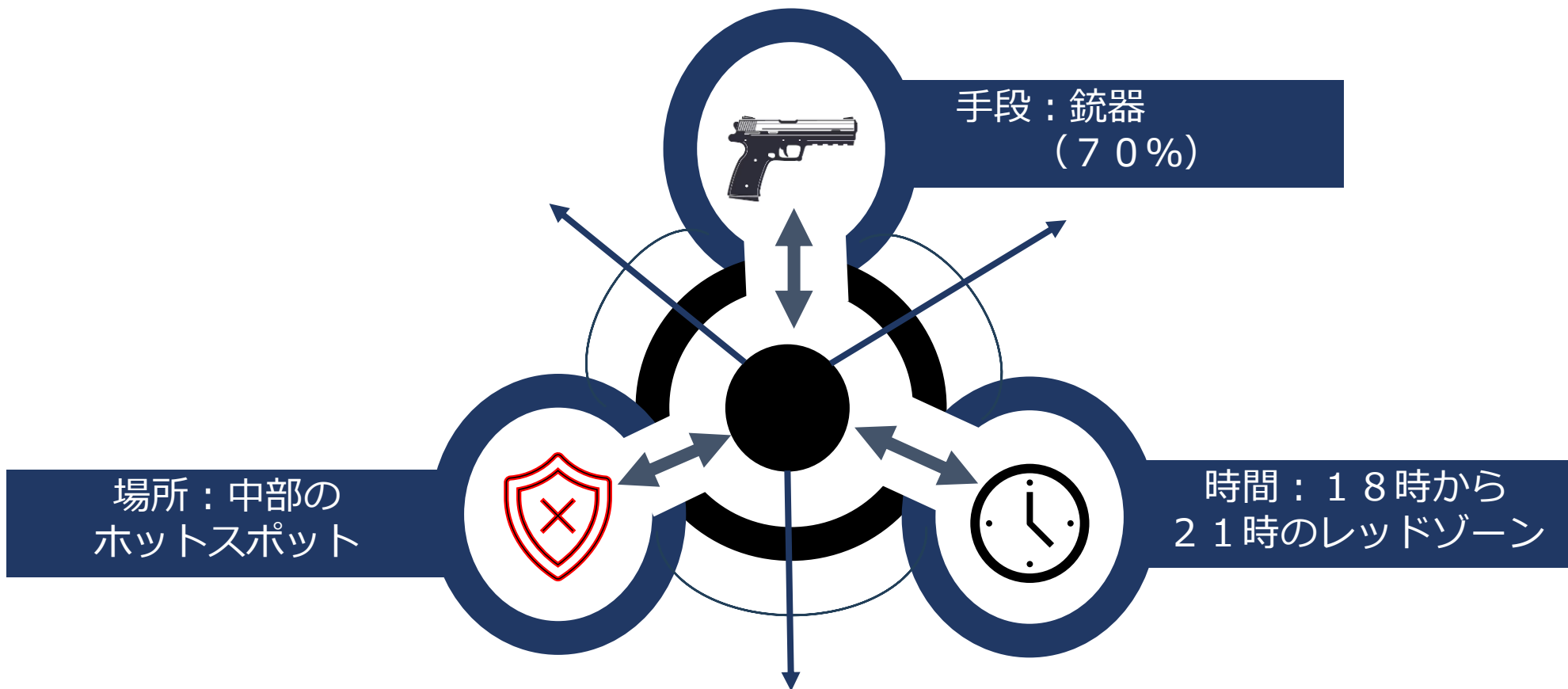


時間帯別殺人事件発生件数（2026年5月）



18時から21時にかけて急増するレッドゾーン。
午後6時から危険度は跳ね上がる。
夜間帯の外出は極めてハイリスク。

危険は予測可能である



脅威は極めて深刻だが、無作為ではない。
パターン化されているからこそ、確実な回避策が存在する。

安全対策の基本的な心構え

1	目立たない 犯罪者やテロリストは、標的を選ぶ際にまずは目立つ人物に目を付ける傾向があります。
2	行動を予知されない 行動のパターン化は、犯罪者、テロリストなどに攻撃計画を立てやすくします。
3	用心を怠らない 家族全員、組織全体で気持ちを引き締める機会を定期的に持つことが必要です。

